



だんかづら
まりん、5歳の女の子。パパチワとママトイプードルの元に誕生したミックスのチワプー。我が家のアイドルで、運命的な出会いでうちの子になってくれて本当に幸せ。
津西 勝保さん方

画廊キヤロリ

キヤロリ一翠堂
10月6〜10日
今井信二「花器・壺・うつわ展」青白磁シノギ技法の作品、シノブルで機能的な日常使いの器や身の回りの置物など。
▽10月23〜28日「伊賀・小島陽介器展」II写真。



お知らせ

第69回時類忌俳句大会
題「時類忌」鎌倉編目。
事前投句のみ。3句1組で複数組可、千円(定額小為替)。未発表作品に限る。原稿用紙等に横書きで住所氏名、電話番号明記。
鎌倉市山ノ内8 建長寺俳句大会実行委員会事務局
へ。10月13日締切。
選者 星野椿さん、山川幸子さん他。時類賞、建長寺賞など受賞者に記念品送付。※当日は物故者法要のみ。実行委22・0981

きく

第5回クラシック音楽のひととき「ソレンド」
鎌倉から明日へ
10月24日14時、鎌倉生涯学習センター。75周年記念コンサート。同会・吉田よし会長らのモーツァルトピアノコンチェルト、声楽アンサンブルの「秋の歌」、弦楽三重奏でピアノの「リベルタンゴ」など。1500円。
申込はメール hitotokio@gmail.comか、村田方 090・2207・0031

ルータス・カルテット
ベートーヴェン program
10月9日14時、鎌倉生涯学習センター。4千円。
Lulus Quartet はモーツァルト全曲演奏を終え、古典音楽の魅力を伝えたい。今回はベートーヴェン弦楽四重奏曲作品18・5と作品131。
解説・予約・問合せは QR から
090・9810・248
6(たのシツク)
第67回鎌倉はなし会
「春風亭一朝・一之輔親子会」
10月30日15時、鎌倉芸術館ホール。江戸弁の大家の父と21人抜きで真打に昇格した息子が共演。「目黒のさんま」「粗忽長屋」など。4千円。
023・0992
bit「チャリティーコンサート2021」
10月16日14時、鎌倉生涯学習センター。若手演奏家のマリンバアンサンブルで、「青い山脈」無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番)他。2500円、学生1500円、前売2千円・学生千円。収益は難民の自立支援事業へ。金内方 22・2457
▽深沢学習センター催し
A 蘇る青春のポップス
10月23日14時。1960〜80年代のポップス。B 大編成バスクラリネットの名曲コンサート
11月14日14時。各無料。
申込は往復ハガキに「催し名・住所・氏名・電話番号」を記入し、常盤1-1-3。A10日、B11月1日必着。同センター 48・0023

みる

川喜多映画記念館 企画展「田中絹代―女優として、監督として」12月12日まで。14歳で映画デビューした田中絹代が松竹のトップ女優となった後、劇映画初の女性監督として活躍し、鎌倉ともゆかりの深い足跡を貴重な資料とともに紹介。一般400円、小中学生200円
▽関連上映
10月2日10時半、1・3日14時「おおかみ」1。

鎌倉市民文化祭 10月

Table with 2 columns: 書道展 (10/1-3), 華道展 (10/23-24). Includes venue (鎌倉芸術館) and contact info (061-3854).

Table with 4 columns: Event Name, Date/Time, Venue, Contact Info. Includes 鎌倉市詩吟詩舞連盟大会, 鎌倉交響楽団第118回定期演奏会, etc.

12月26日まで本郷台のあーすふらぎ。永遠の妖精と謳われたオードリーをファッション、映画、プライベートの3編で紹介。一流ハリウッドフォトグラファーの写真作品約百点。400円。HPからWEB予約制。
「よみがえる中世のアーカイブズ〜いまふたたび出会う古文書たち」
10月1日〜11月28日県立金沢文庫。鎌倉幕府滅亡後に国内外に流失した

購入新図書のリスト抄 鎌倉市中央図書館 (8月分)

鎌倉市中央図書館(025・2611)は8月に一般168冊、児童書31冊を収蔵した。一般的なものは下記の通り。
「良いデジタル化悪いデジタル化―生産性を上げ、プライバシーを守る改革を」野口悠紀雄著 日経BP日本経済新聞出版本部
「ミュージアムグッズのチカラ」大澤夏美著 国書刊行会
「今日がもっと楽しくなる行動最適化大全―ベストタイムにベストルーティンで常に『最高の1日』を作り出す」樺沢紫苑著 KADOKAWA
「TIME SMART―お金と時間の科学」アシュリー・ウィランズ著 東洋経済新報社
「中世禅の知」末木文美士監修 榎本渉編 亀山隆彦編 米田真理子編 臨川書店
「半藤一利―歴史とともに生きる」平凡社(別冊太陽)
「コロナ禍一年」文藝春秋(週刊文春WOMAN)
「ビジネスマナー解体新書―最新版ひと目で要点理解」岩崎智子監修 ナツメ社
「1万円からはじめる勝ち組銘柄投資―10年寝かせて経済的自立を実現」和島英樹著 かんき出版
「限界から始まる―往復書簡」上野千鶴子著 鈴木涼美著 幻冬舎
「365日、暮らしたこよみ―日本の四季と花鳥風月を愛する二十四節候・七十二候・年中行事」井上象英著 学研プラス
「ハーブで楽しむ庭づくり―育てて生かす」東山早智子監修 成美堂出版
「芸術のよろこび」吉田秀和著 河出書房新社
「すべてはタモリ、たけし、さんまから始まった」太田省一著 筑摩書房(ちくま新書)
「英語の思考法―話すための文法・文化レッスン」井上逸兵著 筑摩書房(ちくま新書)

山ノ内 高橋 仁
幕府があった頃も段葛はこうであったに違いない。
哀ることなく蝉の息長し
藤沢市 青木寿美子
下五が言えそうて言えないところが納得できた。
藤沢市 一色千穂子
寂しさに訳などはなし星月夜
藤沢市 塩谷あゆ子
どこか切ない星月夜。初秋の思いがうまく伝わった。
藤沢市 塩田 文子
コロナ禍に読書にのめる癒やし
今年には正岡子規没後120年。コロナ禍の忌も2年目。
マスクつけ眠る幼な児いわし雲
葉山町 大塚喜代子
純喫茶アナログジャズの秋の宵
逗子市 西尾美智子
紅芙蓉ひと日を閉る影ふかめ
逗子市 塩谷あゆ子
金魚玉互の宇宙覗き見る
藤沢市 三浦 和子
竹の春同じ家紋の縹袴き
本郷沼 森田 順子
木犀や谷戸に怒怒の仏様
片瀬 中村 喬
酔芙蓉薄紅さして唇近し
植木 風見 玲子
枝垂れ萩忍者の如く孫隠れ
吉田 健二
秋日和憂雨の後はそのままだに
高口 道宏
夏草や猫三代の墓所
吉田 昭子
行く夏やロゴも新たにモノレール
小美野 一男
桐一葉落ちて実家に電話入れ
小美野 一男
いち早く秋を知らぬ鳩の群
小美野 一男
夏雲や銃声知らぬ鳩の群
小美野 一男

美術館・文学館めぐり

Table with 4 columns: Museum/Library Name, Exhibition Name, Dates, Fees. Includes 県立近代美術館 葉山, 鎌倉文学館, 鎌倉歴史文化交流館, etc.

鎌倉朝日歌壇

星野 高士 選
(天) 一山の月の世の坐禅堂 横濱市 矢沢 寿美
この一山は大寺。月に供えた世が微動だにせず坐禅堂を引き締めている。景色と言葉が無駄なく使われている。
(地) 炎屋や箱をこぼれて魚乾ふ 腰越 松原 薫
暑い屋ト箱からこぼれ落ちた魚。季節が効いている。
(人) 名月や海へ真つ直ぐ段葛 山ノ内 高橋 仁
幕府があった頃も段葛はこうであったに違いない。
哀ることなく蝉の息長し
藤沢市 青木寿美子
下五が言えそうて言えないところが納得できた。
藤沢市 一色千穂子
寂しさに訳などはなし星月夜
藤沢市 塩谷あゆ子
どこか切ない星月夜。初秋の思いがうまく伝わった。
藤沢市 塩田 文子
コロナ禍に読書にのめる癒やし
今年には正岡子規没後120年。コロナ禍の忌も2年目。
マスクつけ眠る幼な児いわし雲
葉山町 大塚喜代子
純喫茶アナログジャズの秋の宵
逗子市 西尾美智子
紅芙蓉ひと日を閉る影ふかめ
逗子市 塩谷あゆ子
金魚玉互の宇宙覗き見る
藤沢市 三浦 和子
竹の春同じ家紋の縹袴き
本郷沼 森田 順子
木犀や谷戸に怒怒の仏様
片瀬 中村 喬
酔芙蓉薄紅さして唇近し
植木 風見 玲子
枝垂れ萩忍者の如く孫隠れ
吉田 健二
秋日和憂雨の後はそのままだに
高口 道宏
夏草や猫三代の墓所
吉田 昭子
行く夏やロゴも新たにモノレール
小美野 一男
桐一葉落ちて実家に電話入れ
小美野 一男
いち早く秋を知らぬ鳩の群
小美野 一男
夏雲や銃声知らぬ鳩の群
小美野 一男

鎌倉朝日歌壇

木村 雅子 選
手を足に代え人生を切り開くパラリンピアンのは汗輝けり
藤沢市 三浦 和子
パラリンピック出場の手先の躍動感ある輝きを詠う。
失ひしものを嘆かぬ生きさまをわれに迫るやパラリンピックは
葉山町 近藤美知子
選手は健闘をわが身に引き付けて考える誠実な心の歌。
ワクチンの二度目の接種終へし夜の「ポレロ」の調べ満月の色
二階堂 鎌田 澄子
下句の具体がいい。読む者も、この聴覚・視覚に得心。
絵手紙にはみ出す胡瓜かきやればぬか味噌漬けにすると返信
逗子市 湊 美根子
湧く雲と浮かぶ雲とが行き合ひて七里ヶ浜に秋は来にけり
片瀬 中村 喬
問診票の年齢欄はマス三個百歳越えは珍しからず
大船 小笹美子
坂道を下り踏切り子らが待つ海桐の花の道のはじまる
横濱市 矢沢 寿美
道端の葎のつぼみのツツンと白くふくらみこの夏終わる
材木座 有野裕美子
コロナ禍の施設は常に涼やかな風を通せり裏口開けて
玉縄 杉山ますゑ
本を読む事に力が入ること術後の胸の傷に知りたり
藤沢市 青木寿美子
「防災の日」とたんに猛暑さよならずコロナよお主もさよならせむか
辻堂 柳 蒼柳